

令和7年度 市岡東中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	96	52	54	4.7	6.9
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	534
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 市岡東中学校中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

【国語】【成果】

1. 思考力、判断力、表現力等を問う問題の平均正答率においては52.1%を達成し、全国平均の50.5%を上回った。これは、複雑な情報を処理し、論理的に考察する応用力に強みがあることを示している。
2. 物語文における人物像を捉える記述力の高さ：文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を正確に捉える力が確認された。
3. 文章構成と表現効果の考察力：文章の構成や展開を読み取り、その表現の効果について適切に考える能力が高い。
4. 情報の提示・意図に関する理解力：目的に応じて整理された資料の工夫を的確に読み取る能力が優れている。

【課題】

1. 発言の意図を踏まえた表現工夫の記述力が課題
2. 文章構成と効果を考察する力の不足

【数学】【成果】

1. 本校生徒の数学の平均正答率は54% (15問中8.1問) であり、全国平均の48.3% (15問中7.2問) を5.7ポイント上回る結果となった。また、大阪府平均 (47%) も上回っており、生徒の数学に対する学習の定着度が全般的に高い。
2. 思考力、判断力、表現力等に関する突出した成果：与えられた情報をもとに統合的・発展的に考える応用力に強みがある。
3. 基礎的な数理概念に関する高い定着度：基礎知識を問う分野で高い正答率が確認された。「1から9までの数の中から素数を全て選ぶ」問題の正答率が49.0%、「外角の意味を理解しているか」をみる問題でも、本校は71.9%の正答率であり、全国平均を大きく上回っている。
4. 「数と式」領域および証明問題における論理的説明力：目的に応じて式を変形し、成り立つ理由を説明する能力をみる記述式問題において、本校は58.3%の正答率で、全国平均 (45.2%) を大幅に上回っている。式の意味を読み取り、論理的な表現を用いて説明する力が育成されている。

【課題】

1. 反例を示す論理的な考察力が課題：論理的な思考を深め、反例を見つける訓練が必要。
2. 基礎的な確率の理解にわずかな遅れ：基礎的な知識・技能の完全な定着に向け、指導の強化が必要

【理科】【成果】

1. 市岡東中学校のIRTスコアの平均は534であり、全国の平均IRTスコアである495を大きく上回っている。また、平均正答数においても、本校は3.2であるのに対し、全国は2.9となっており、高い成果を収めている。
2. 【IRTバンドの表現を用いた良い点】高得点層の生徒の割合が全国平均を上回っている。学力到達度を示すIRTバンドの分布において、市岡東中学校は、最も高い水準を示すバンド5の生徒の割合が9.3%と、3.1ポイント高い結果となっている。また、上位2つのバンド (バンド4とバンド5) の合計割合は32.0%に達しており、全国の合計26.5%を大きく上回っている。
3. 「粒子」を柱とする領域の「思考・判断・表現」で全国を大きく上回る正答率を示している。化学変化の理解とそれを原子や分子のモデルで適切に表現する能力が優れている。
4. 「生命」を柱とする領域の問題では、「知識・技能」の正答率が86.6%と非常に高い水準にある。全国の正答率79.4%と比較しても、7.2ポイント上回っており、学習指導要領の領域を超えた知識の活用において強みを持っている。

【課題】

1. 「エネルギー」を柱とする領域の「知識・技能」に関する設問での正答率が低い：生徒が回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識を活用して結果を予想する能力に課題
2. 「地球」を柱とする領域の「知識・技能」に関する設問で全国平均を下回った

【国語】

1. 相手意識と表現の工夫を強化する指導を進める。
 - ・「話すこと・聞くこと」の活動の充実、表現と効果の言語化訓練、具体的な助言作成練習、文章構造の分析と論理的な根拠記述の徹底
2. 文章構造の分析と論理的な根拠記述の徹底
 - ・構造的な読解の強化、根拠に基づいた考察の訓練、「書くこと」と「読むこと」の連携

【数学】

1. 論理的な考察力と反例を提示する記述力を強化する。
 - ・論理構造の深掘り指導、具体例を用いた検証の習慣化、記述による論証練習
2. 確率の基礎概念の確実な定着
 - ・確率用語と定義の再確認、事象の網羅的な分析、選択式問題の意図理解

【理科】

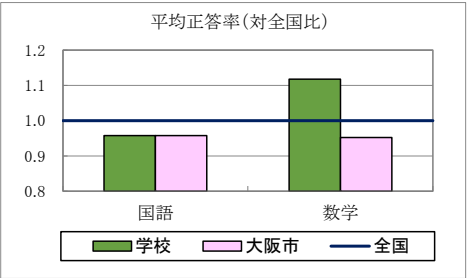
1. エネルギー領域：知識の応用と結果予測の強化
 - ・電気回路の知識 (直列・並列の抵抗や熱量の関係) を単に覚えるだけでなく、具体的な実験条件や仮説 に当てはめて、結果 (例：電流の値など) を論理的に予測し選択する演習を強化。知識を実際の状況で「活用する力」の定着。
2. 地球領域：地層の構造と水の関連付け
 - ・地層に関する既習の知識を関連付けながら、露頭の図などから情報を分析して解釈する 練習を繰り返すことで、知識を活用して判断する能力を育成。

令和7年度 市岡東中学校中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

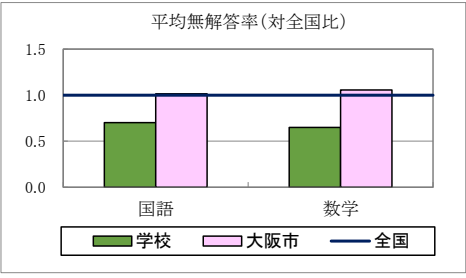
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	52	54
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

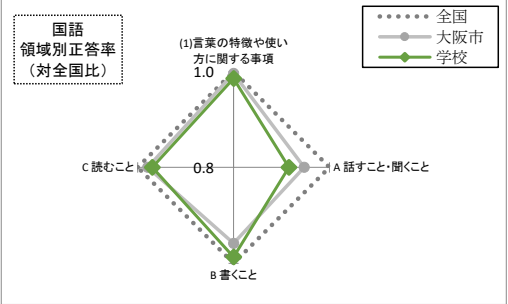
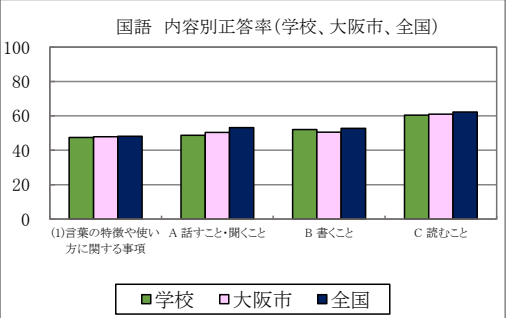


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	4.7	6.9
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



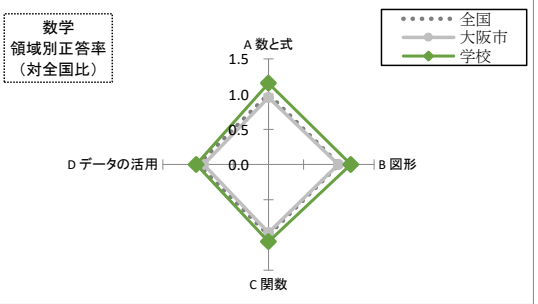
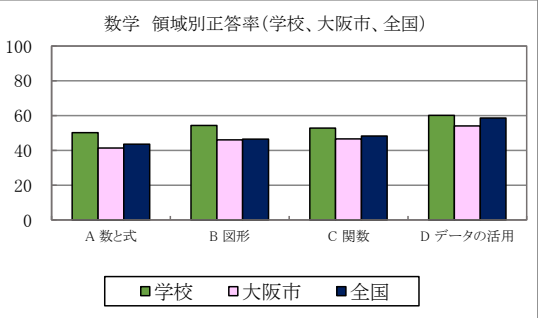
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	47.4	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	48.7	50.4	53.2
B 書くこと	5	52.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	60.4	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	50.2	41.4	43.5
B 図形	4	54.4	46.1	46.5
C 関数	3	52.8	46.6	48.2
D データの活用	3	60.1	54.0	58.6

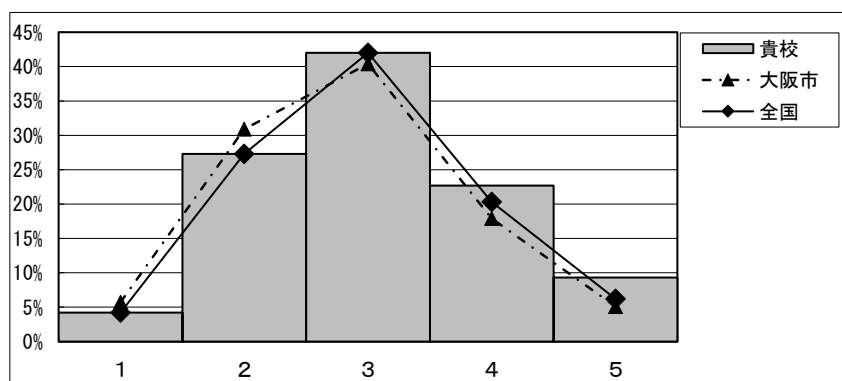
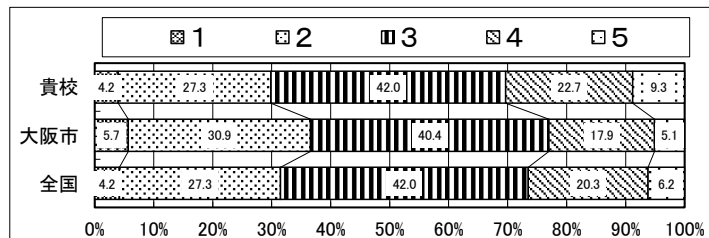


令和7年度 市岡東中学校中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	534
大阪市	489
全国	503



令和7年度 市岡東中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

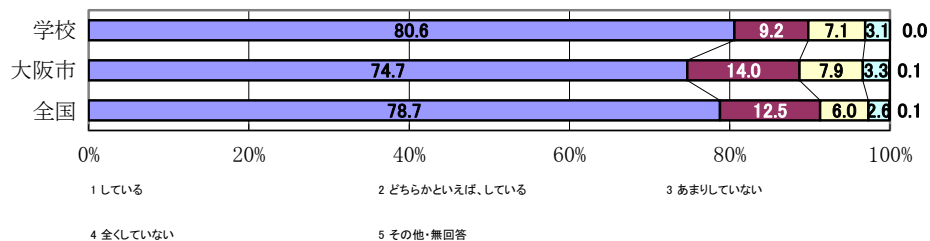
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

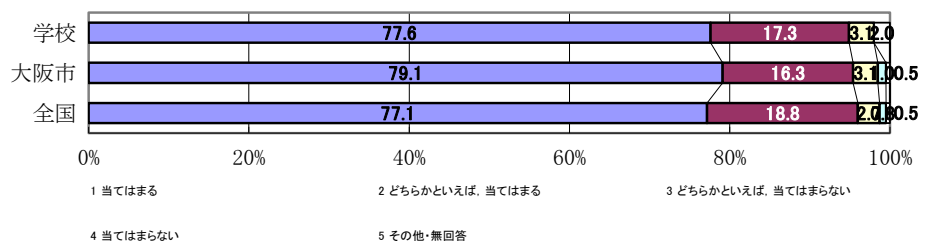
1

朝食を毎日食べていますか



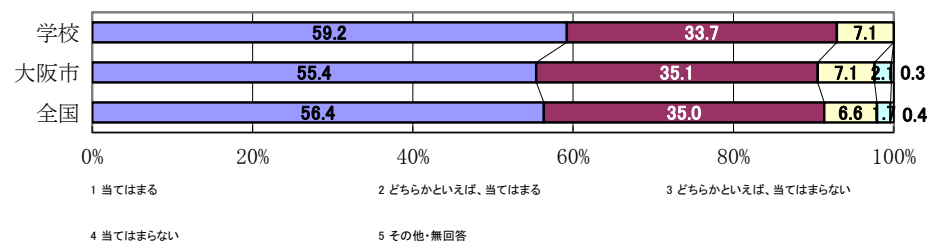
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



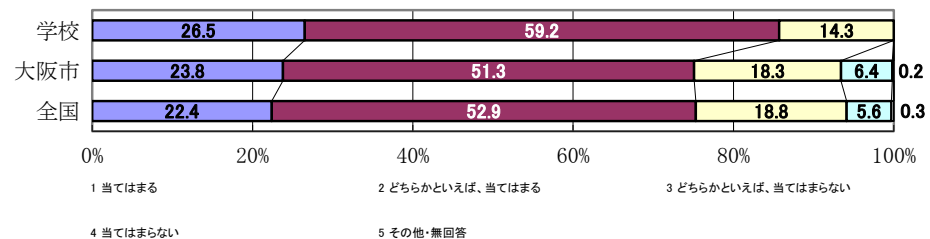
14

友達関係に満足していますか



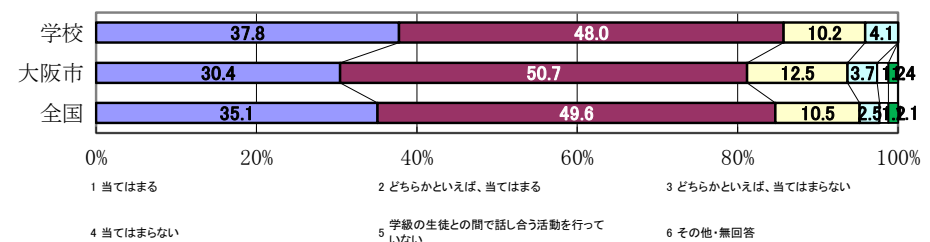
27

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



令和7年度 市岡東中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

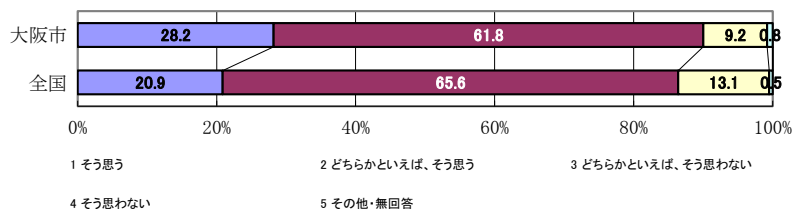
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

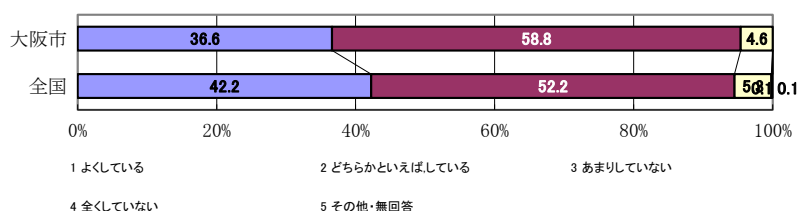
学校 「そう思う」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

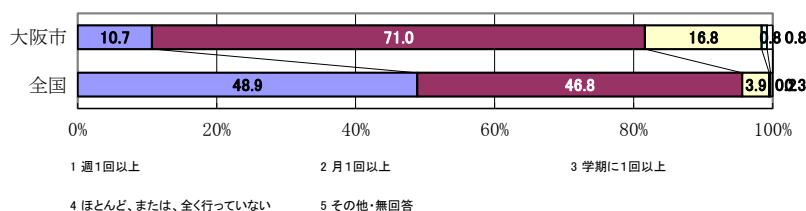
学校 「どちらかといえば、している」を選択



54

調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

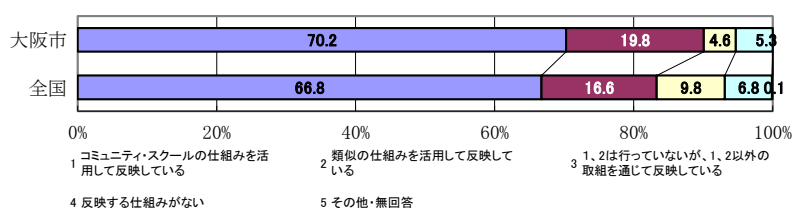
学校 「週1回以上」を選択



75

コミュニティ・スクール等の仕組みを活用して、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映していますか

学校 「コミュニティ・スクールの仕組みを活用して反映している」を選択



82

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

